



Kazuo Miyagawa © Courtesy of Kazuo Miyagawa Family

25作品一挙上映 宮川一夫： 日本の偉大な撮影監督

4/13(金)~28(土)

ジャパン・ソサエティー (JS) はニューヨーク近代美術館 (MoMA) と共催で、宮川一夫 (1908-1999) が撮影監督を務めた 25 作品を 2 館で上映する。JS 創立 110 年記念特別企画の一環。黒澤明や溝口健二など日本を代表する監督の作品が並び、国際映画祭受賞作品も多数。

● Japan Society (JS) 333 E. 47th St. (bet. 1st & 2nd Aves.)

www.japansociety.org/page/programs/film/miyagawa

\$13 (一般)、\$10 (学生、シニア)、\$9 (会員) 3 作品同時購入で割引あり

● The Museum of Modern Art (MoMA) 11 W. 53rd St. (bet. 5th & 6th Aves.)

\$12 (一般)、\$10 (シニア)、\$8 (学生)

宮川一夫 1908 年、京都市生まれ。26 年、18 歳で映画スタジオ、日活京都へ現像部助手として入社、35 年撮影監督デビュー。市川崑監督「おとうと」(60 年) の撮影でフィルムの発色部分の銀を残す独特の技法「銀残し」を生み出した。映画 136 本、テレビドラマ 8 本を撮影し、99 年に 91 歳で他界。

編集部
Pick Up!

無法松の一生

1943年 | 80分 | 監督:稲垣浩
12(木) 16:30- @MoMA / 14(土) 19:00- @JS

気性が荒いが憎めない男の人生を描いた三船敏郎主演の名作。ラストシーンで披露される小倉祇園太鼓の暴れ打ちはこの作品から生まれた。宮川が自身の「原点」と呼ぶ作品。

東京オリンピック

1965年 | 170分 | 監督:市川崑
21(土) 14:00- @JS / 29(日) 16:30- @MoMA

東京オリンピック(1964年)の長編記録映画。宮川の主導の下、撮影技師164人が当時の最高技術を駆使して撮影。映像は記録映画の常識を超え、「記録か芸術か」の論争に発展した。

鍵

1959年 | 107分 | 監督:市川崑
23(月) 19:00- @MoMA / 28(土) 16:30- @JS

人間の欲望と性欲をユーモアと共に表現した作品。第13回カンヌ国際映画祭審査員賞受賞、第17回ゴールデングローブ賞外国語映画賞受賞。抑制されたカラー映像が登場人物の複雑な葛藤を引き立てている。

浮草

1959年 | 119分 | 監督:小津安二郎
12(木) 19:30- @MoMA / 13(金) 19:00- @JS

旅芝居一座の浮草稼業ぶりを描いた無声映画「浮草物語」のリメイク作品。今回は4Kリマスター版を上映。13日は特別料金で宮川の長男一郎や撮影技師の宮島将大の舞台挨拶付き、レセプションも開催。



「刺青」 Akio Hasagawa (L), Ayako Wakao (R) © 1966 KADOKAWA

はなれ瞽女おりん

1977年 | 117分 | 監督:篠田正浩
26(木) 19:30- @MoMA / 28(土) 19:00- @JS

三味線を片手に旅をする盲目の女旅芸人の純愛悲劇。雪深い新潟の山里や荒れ狂う日本海など、自然を美しく捉えたカメラワークは必見。毎日映画コンクール撮影賞受賞。

羅生門

1950年 | 88分 | 監督:黒澤明
14(土) 16:30- @JS / 18(水) 19:00- @MoMA

芥川龍之介の「藪の中」を映画化した傑作。太陽の撮影や暗い森のシーンなどの撮影技法は革新的。第24回アカデミー賞最優秀外国語映画賞受賞。同作品で黒澤は宮川を「100点以上」と評価した。

刺青

1966年 | 86分 | 監督:増村保造
21(土) 20:30- @JS / 25(水) 19:30- @MoMA

谷崎潤一郎の原作を新藤兼人が脚色した文芸作品。男女の人間関係のもつれから巨大な女郎蜘蛛の入れ墨をされる女の話。宮川の浮世絵を思わせる色鮮やかでシャープな映像が魅力。

講演会 撮影監督・宮川一夫

Cinematographer, Kazuo Miyagawa
14(土) 15:00- @JS

宮川の長男一郎と、宮川の撮影技師助手を務めた宮島正弘を迎えた、約1時間のトークイベント。映画鑑賞券購入者は無料、先着順。

全スケジュールはウェブサイト参照 www.japansociety.org/page/programs/film/miyagawa